

親と同居「したくない」は「したい」の2倍以上！ 「親の介護が心配」「自分の介護が心配」はほぼ同数 40歳以上の子世代に聞く、敬老の日アンケート

9月15日は「老人の日」、21日は「敬老の日」と老後について身近に感じる機会も多くなるのではないのでしょうか。『保険クリニック』は、40歳以上の子世代に聞く、親や自分の介護について男女各250人を対象にアンケートを実施しました。

【調査結果概要】

- ・40歳～60歳の男女500人のうち親が生存している432人に聞くと、**親と同居したくないが同居したいの2倍以上**となりました。(Q2)
- ・親の介護については、**親の介護が心配**または**介護経験のある人は51.6%**を占め、その大半が費用面の心配を挙げていました。(Q3.4)
- ・親と、**今後について話し合っていない**が**67.8%**を占め、どうするかまで決めている人は12.5%でした。(Q5)
- ・**親が介護状態になったら「介護施設に入所させる」(154人、35.6%)「自分で在宅介護をする」(134人、31.0%)**が多く、半数以上の人々が答えた「自分ができる介護の種類」は、「買い物」「掃除」「洗濯」でした。(Q6.7)
- ・自分の介護については、「心配」が42.2%と、親の介護を心配する人と割合は差がありませんでした。(Q8)
- ・**自分が介護状態になったら、介護職員に介護してほしい人が36%**と最も多い一方、「誰にもしてほしくない」も34%を占めました。(Q9)
- ・自分が介護状態になった時の準備をしているのは、36.0%にとどまり、その方法は貯蓄が大半でした。(Q10)

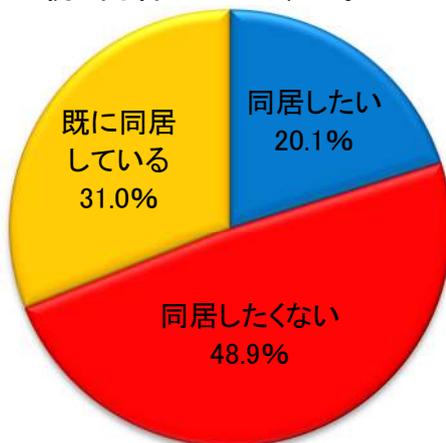
【調査結果詳細】

Q1. 親の年代はどれですか。

回答者の年代	親の年代	割合
40代	50代	0.2%
50代	60代	9.0%
60代	70代	43.4%
	80代	31.4%
	90代	2.4%
	亡くなっている	13.6%

40歳～60歳までの男女各250人に親の年代を聞いてみたところ、70～80歳代が74.8%で大半を占めていました。
平成26年3月末の介護認定者数は584万人。
75歳以上の3人に1人は介護が必要な状況になっています。

Q2. 親と同居したいですか。



親と同居する？反対は賛成の2倍強！

親が生存している432人に親と同居したいかを聞いたところ、「同居したい」が20.1%に対して「同居したくない」が48.9%いることが分かりました。

内閣府の平成26年版高齢社会白書によると、子どもとの同居率は1980年に70%だったのが、1999年には50%を割り、2012年には42.3%と大幅に減少しているそうです。

一人暮らしや高齢者夫婦のみの世帯がどんどん増えていて、2012年は53.6%となっています。

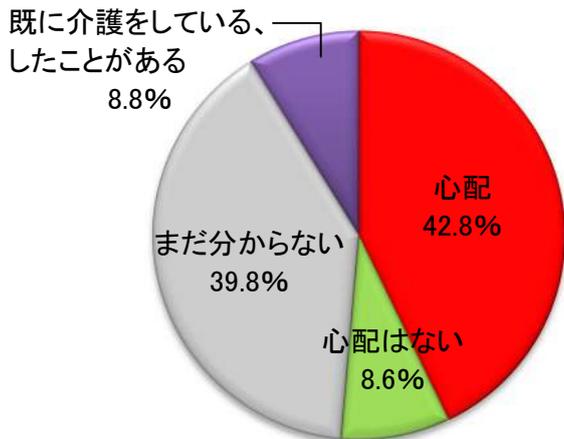


【本件に関するお問い合わせ】

株式会社アイリックコーポレーション 広報宣伝部 山本

TEL: 03-5840-9561 E-mail: branding@irrc.co.jp

Q3. 親の介護について心配はありますか。

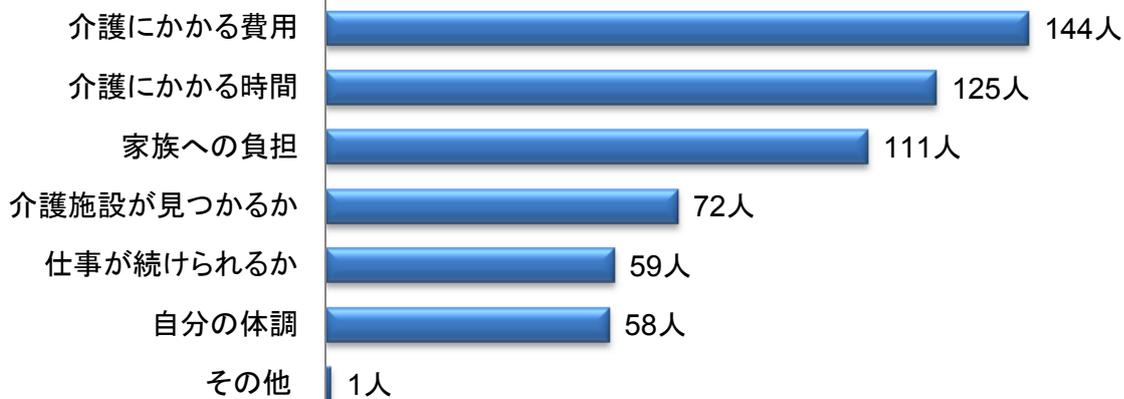


約 51%は親の介護が心配！

親の介護が心配もしくはすでに介護している人の割合は 51.6% (223 人) いることが分かりました。

40 歳代以降になると、親の介護問題が現実味を帯びているのがわかります。

Q4. 親の介護について心配な事はなんですか。(いくつでも)

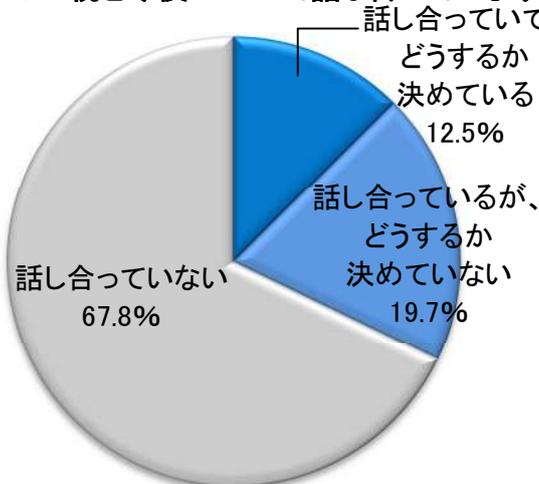


親の介護の心配事は費用と時間！

親の介護が心配と答えた 185 人に何が心配か聞いたところ、1 位は「介護にかかる費用」(144 人、77.8%)、2 位は「介護にかかる時間」(125 人 67.6%)、3 位は「家族への負担」(60.0%)と続いています。

介護にかかる時間は介護認定の程度によってかなり異なります。また、費用に関しても介護認定の程度と自宅介護か施設介護かでかなりの開きがあります。8 月に、所得が一定以上の場合、公的介護サービス利用時の負担が 2 割にアップしたことも、費用面の心配の要因でしょう。

Q5. 親と今後について話し合っていますか。



約 67.8%は今後について話していない！

親と今後のことについて話し合っているか聞いたところ、話し合っていてどうするか決めている人は 12.5% (54 人)、話し合っているけど、決めていない人が 19.7% (85 人) いることが分かりました。

67.8%は何も話していないとの結果になりました。

最近では終活という言葉も浸透していますが、なかなか子世代から介護になったらどうする？と親に直接聞くのに抵抗がある人も少なくないと思います。お互いが話しやすくなる場や機会の提供も今後の課題かもしれません。

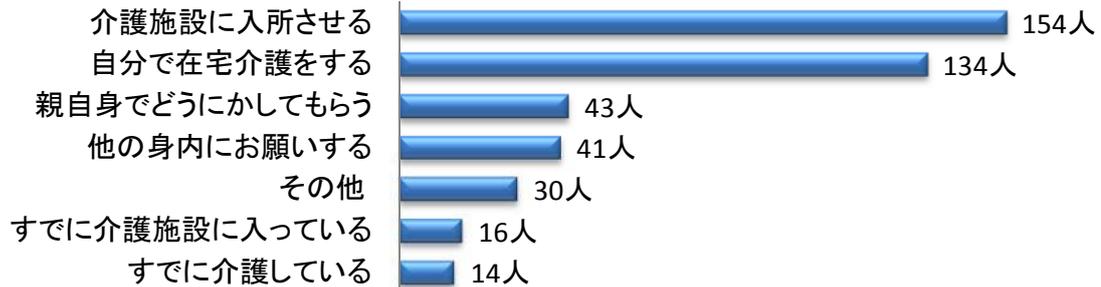


【本件に関するお問い合わせ】

株式会社アイリックコーポレーション 広報宣伝部 山本

TEL: 03-5840-9561 E-mail: branding@irrc.co.jp

Q6. 親が介護状態になったらどうしますか。

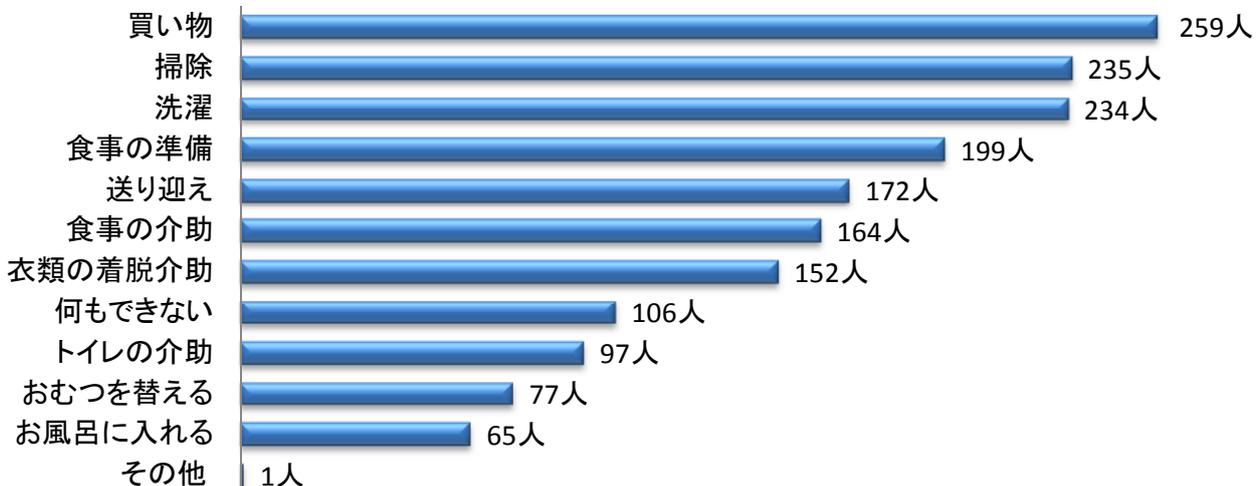


自分で介護するのは約 34%のみ！

親が生存している 432 人に介護状態になったらどうするか聞いたところ、第 1 位は「介護施設に入所させる」(154 人、35.6%)、第 2 位は「自分で在宅介護する」(134 人、31%)でした。

その他の意見が多かったのは、「まだ分からない」でした。

Q7. 自分ができる介護の種類はなんですか。(いくつでも)

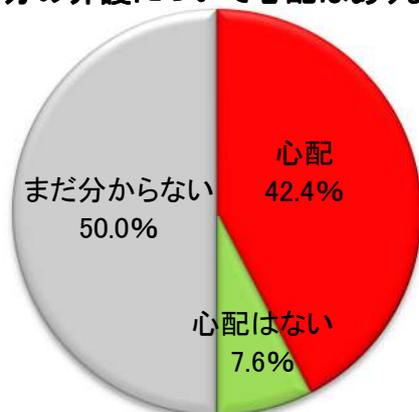


約 4 人に 1 人は何もできない！

自分で出来る介護の種類について聞いたところ、第 1 位は「買い物」、第 2 位は「掃除」、第 3 位は「洗濯」となりました。この 3 つについては、半数以上の人々が「自分でできる」と考えているようです。

一方で、432 名中 106 人(24.5%)は「何もできない」と回答しました。自分では何も介護することができない分、前問で、介護施設や他の人をお願いをする人が多かったのも頷けます。

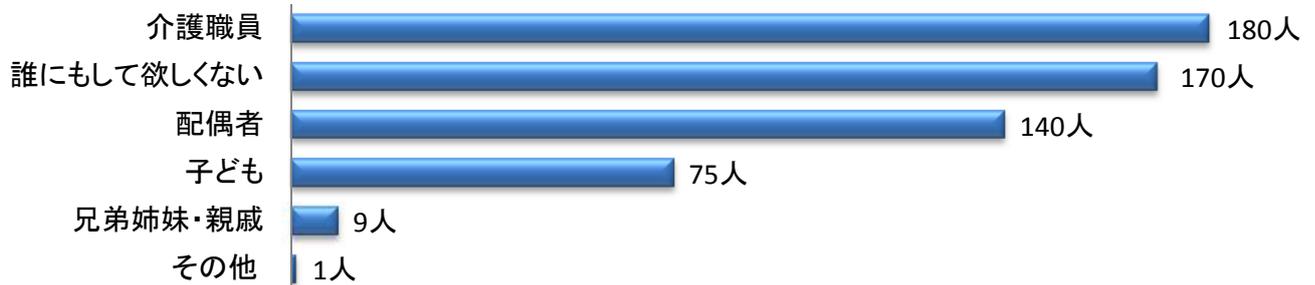
Q8. 自分の介護について心配はありますか。



約 42%は自分の介護が心配！

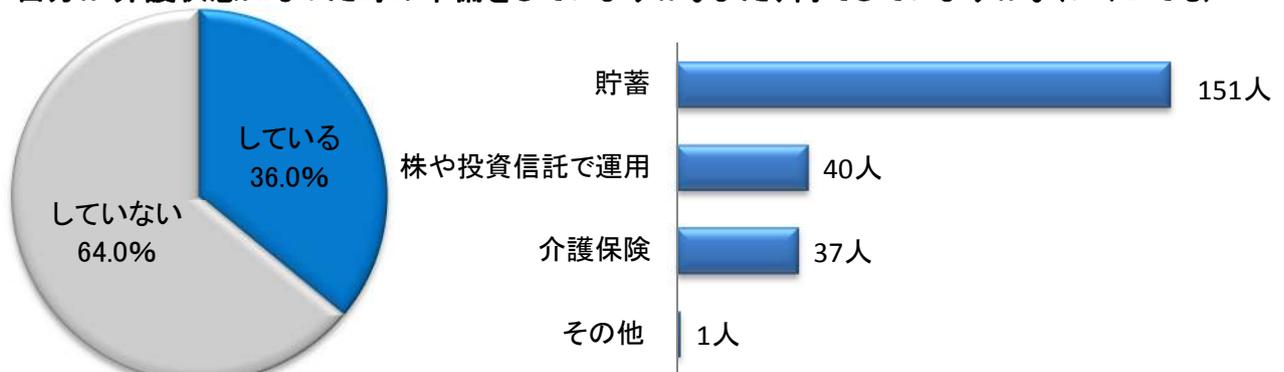
40 歳～60 歳の 500 人に、自分の介護について心配か聞いたところ、半数は「まだ分からない」でしたが、212 人(42.4%)は「心配」と感じていることが分かりました。

Q3 で「親の介護が心配」と答えたのが 185 人(42.8%)と、自身の介護保険料も払い始める 40 歳以降は、親だけでなく自分の老後や介護についても、考え始める年齢だと言えます。

Q9. 自分が介護状態になった時、誰に介護して欲しいですか。(いくつでも)**自分の介護は介護施設で！**

自分が介護状態になった時、誰に介護して欲しいか聞いたところ 36%は「介護職員」、34%は「誰にもして欲しくない」との回答でした。

自分が介護状態になった時は家族や身内に迷惑をかけたくないと考えている人が多いことが伺えます。

Q10. 自分が介護状態になった時の準備をしていますか。また、何でしていますか。(いくつでも)**心配していても準備はまだ！？**

自分が介護状態になった時の準備をしているか聞いたところ、42.4%の人が自分が介護状態になった時の事を心配しているのに対して、準備をしている人は 36%にとどまっています。

少しでも早くから始めれば、少ない金額で多く準備することが可能です。

【調査方法】

サンプル数 : 男女 500 人(男性 250 人、女性 250 人)

年 齢 : 40 歳～60 歳

調査方法 : Web アンケート

調査期間 : 2015 年 9 月 4 日～9 月 7 日

※本リリースの調査結果や分析をご利用いただく際は、『保険クリニック調べ』と明記ください。